

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月6日
【計算期間】	第11期中 (自 平成24年11月7日 至 平成25年5月6日)
【ファンド名】	D C インデックスバランス (株式20)
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 村上 雅彦
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	小濱 公哉
【連絡場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【電話番号】	03-6447-6147
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

以下の運用状況は2013年5月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	983,290,037	94.99
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	51,843,222	5.01
合計（純資産総額）		1,035,133,259	100.00

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

期別		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第1計算期間末	2003年11月 6日	25	25	1.0271	1.0271
第2計算期間末	2004年11月 8日	97	97	1.0677	1.0677
第3計算期間末	2005年11月 7日	304	304	1.1451	1.1451
第4計算期間末	2006年11月 6日	410	410	1.1823	1.1833
第5計算期間末	2007年11月 6日	559	560	1.2188	1.2198
第6計算期間末	2008年11月 6日	574	574	1.0938	1.0948
第7計算期間末	2009年11月 6日	658	659	1.1229	1.1239
第8計算期間末	2010年11月 8日	730	731	1.1402	1.1412
第9計算期間末	2011年11月 7日	812	813	1.1301	1.1311
第10計算期間末	2012年11月 6日	907	908	1.1621	1.1631
2012年 5月末日		881	-	1.1388	-
6月末日		880	-	1.1523	-
7月末日		896	-	1.1489	-
8月末日		899	-	1.1500	-
9月末日		899	-	1.1571	-
10月末日		907	-	1.1619	-
11月末日		925	-	1.1786	-
12月末日		944	-	1.2060	-
2013年 1月末日		976	-	1.2379	-
2月末日		994	-	1.2520	-
3月末日		1,018	-	1.2779	-
4月末日		1,037	-	1.3109	-
5月末日		1,035	-	1.3018	-

【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1期	2002年12月10日～2003年11月6日	0
第2期	2003年11月7日～2004年11月8日	0
第3期	2004年11月9日～2005年11月7日	0
第4期	2005年11月8日～2006年11月6日	0.0010
第5期	2006年11月7日～2007年11月6日	0.0010
第6期	2007年11月7日～2008年11月6日	0.0010
第7期	2008年11月7日～2009年11月6日	0.0010
第8期	2009年11月7日～2010年11月8日	0.0010
第9期	2010年11月9日～2011年11月7日	0.0010
第10期	2011年11月8日～2012年11月6日	0.0010
当中間期	2012年11月7日～2013年5月6日	-

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第1期	2002年12月10日～2003年11月6日	2.71
第2期	2003年11月7日～2004年11月8日	3.95
第3期	2004年11月9日～2005年11月7日	7.25
第4期	2005年11月8日～2006年11月6日	3.34
第5期	2006年11月7日～2007年11月6日	3.17
第6期	2007年11月7日～2008年11月6日	10.17
第7期	2008年11月7日～2009年11月6日	2.75
第8期	2009年11月7日～2010年11月8日	1.63
第9期	2010年11月9日～2011年11月7日	0.80
第10期	2011年11月8日～2012年11月6日	2.92
当中間期	2012年11月7日～2013年5月6日	12.74

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち、以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

2【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	2002年12月10日～2003年11月6日	26,216,647	1,519,193
第2期	2003年11月7日～2004年11月8日	70,233,497	3,453,129
第3期	2004年11月9日～2005年11月7日	188,257,844	13,524,446
第4期	2005年11月8日～2006年11月6日	125,745,689	44,778,550
第5期	2006年11月7日～2007年11月6日	163,992,962	51,915,246
第6期	2007年11月7日～2008年11月6日	136,224,486	70,649,369
第7期	2008年11月7日～2009年11月6日	112,641,207	50,706,866
第8期	2009年11月7日～2010年11月8日	113,017,851	58,786,346
第9期	2010年11月9日～2011年11月7日	116,169,305	38,356,384
第10期	2011年11月8日～2012年11月6日	147,565,250	85,574,433
当中間期	2012年11月7日～2013年5月6日	72,063,405	57,908,598

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

（参考）日本株式インデックスＴＯＰＩＸマザーファンド

以下の運用状況は2013年5月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	27,067,692,080	98.73
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	347,309,638	1.27
合計（純資産総額）		27,415,001,718	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	351,075,000	1.28

（注）先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

（参考）海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

以下の運用状況は2013年5月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	44,504,074,990	55.41
	カナダ	3,641,934,778	4.53
	ドイツ	3,108,273,379	3.87
	イタリア	739,600,079	0.92
	フランス	3,267,570,026	4.07
	オーストラリア	2,658,933,988	3.31
	イギリス	7,487,689,989	9.32
	スイス	3,510,325,142	4.37
	バミューダ	164,866,764	0.21
	香港	969,889,144	1.21
	シンガポール	588,235,602	0.73
	ニュージーランド	44,660,006	0.06
	オランダ	1,009,593,287	1.26
	スペイン	1,042,728,070	1.30
	ベルギー	412,591,283	0.51
	スウェーデン	1,119,821,961	1.39
	ノルウェー	249,894,394	0.31
	オーストリア	100,508,754	0.13
	ルクセンブルグ	137,324,577	0.17
	フィンランド	279,676,314	0.35
	デンマーク	401,206,811	0.50
	アイルランド	609,662,053	0.76
	イスラエル	178,915,506	0.22
	ポルトガル	57,682,796	0.07
	ケイマン島	81,210,575	0.10
	モーリシャス	10,170,600	0.01
	ジャージー	395,169,815	0.49
	ガーンジー	23,392,191	0.03
	小計	76,795,602,874	95.62
投資証券	アメリカ	1,214,505,716	1.51
	カナダ	18,247,800	0.02
	フランス	99,818,244	0.12
	オーストラリア	246,545,497	0.31
	イギリス	101,951,447	0.13
	香港	38,538,179	0.05
	シンガポール	32,616,832	0.04
	オランダ	9,195,005	0.01
	小計	1,761,418,720	2.19
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	1,755,086,797	2.19
合計（純資産総額）		80,312,108,391	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	1,087,523,112	1.35
	買建	ドイツ	473,815,576	0.59

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約先物取引	買建	—	917,265,120	1.14
	売建	—	477,125,600	0.59

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

（参考）日本債券インデックスマザーファンド

以下の運用状況は2013年5月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	27,687,952,270	79.39
地方債証券	日本	2,292,843,000	6.57
特殊債券	日本	2,575,639,700	7.39
社債券	日本	1,966,064,000	5.64
	オーストラリア	203,196,000	0.58
	小計	2,169,260,000	6.22
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	150,045,067	0.43
合計（純資産総額）		34,875,740,037	100.00

（参考）海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド

以下の運用状況は2013年5月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	101,130,511,855	40.46
	カナダ	6,641,197,909	2.66
	ドイツ	21,396,926,019	8.56
	イタリア	23,927,043,641	9.57
	フランス	24,518,932,774	9.81
	オーストラリア	3,792,843,174	1.52
	イギリス	18,160,199,315	7.27
	スイス	922,164,676	0.37
	シンガポール	991,928,243	0.40
	マレーシア	1,437,743,531	0.58
	オランダ	6,724,343,024	2.69
	スペイン	12,157,163,405	4.86
	ベルギー	6,508,552,681	2.60
	スウェーデン	1,550,844,689	0.62
	ノルウェー	766,894,994	0.31
	オーストリア	4,413,784,132	1.77
	フィンランド	1,579,230,641	0.63
	デンマーク	2,063,027,904	0.83
	メキシコ	2,592,275,796	1.04
	アイルランド	2,001,345,915	0.80
	ポーランド	1,760,147,082	0.70
	南アフリカ	1,378,465,827	0.55
	小計	246,415,567,227	98.59
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	3,532,437,650	1.41
合計（純資産総額）		249,948,004,877	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約先物取引	売建	—	1,140,641,870	0.46

(注) 為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。
- なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（平成24年11月7日から平成25年5月6日まで）の中間財務諸表について、あらた監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

D C インデックスバランス（株式20）

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 平成24年11月 6 日現在	当中間計算期間末 平成25年 5 月 6 日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	46,696,732	57,386,102
親投資信託受益証券	862,870,144	986,336,936
未収入金	-	1,000,453
未収利息	87	102
流動資産合計	909,566,963	1,044,723,593
資産合計	909,566,963	1,044,723,593
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	780,800	-
未払解約金	55,140	1,814,706
未払受託者報酬	140,461	148,791
未払委託者報酬	1,170,991	1,240,417
その他未払費用	22,892	24,257
流動負債合計	2,170,284	3,228,171
負債合計	2,170,284	3,228,171
純資産の部		
元本等		
元本	780,800,776	794,955,583
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	126,595,903	246,539,839
（分配準備積立金）	65,366,231	60,798,829
元本等合計	907,396,679	1,041,495,422
純資産合計	907,396,679	1,041,495,422
負債純資産合計	909,566,963	1,044,723,593

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 平成23年11月 8 日 至 平成24年 5 月 7 日	当中間計算期間 自 平成24年11月 7 日 至 平成25年 5 月 6 日
営業収益		
受取利息	14,418	15,376
有価証券売買等損益	20,704,606	118,162,768
営業収益合計	20,719,024	118,178,144
営業費用		
受託者報酬	134,055	148,791
委託者報酬	1,117,608	1,240,417
その他費用	21,848	24,257
営業費用合計	1,273,511	1,413,465
営業利益又は営業損失（ ）	19,445,513	116,764,679
経常利益又は経常損失（ ）	19,445,513	116,764,679
中間純利益又は中間純損失（ ）	19,445,513	116,764,679
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	572,772	5,007,156
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	93,508,247	126,595,903
剰余金増加額又は欠損金減少額	11,491,812	17,693,679
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	11,491,812	17,693,679
剰余金減少額又は欠損金増加額	4,724,028	9,507,266
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	4,724,028	9,507,266
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	119,148,772	246,539,839

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
-----------------	--

(中間貸借対照表に関する注記)

		前計算期間末 平成24年11月 6日現在	当中間計算期間末 平成25年 5月 6日現在
1.	期首元本額	718,809,959円	780,800,776円
	期中追加設定元本額	147,565,250円	72,063,405円
	期中一部解約元本額	85,574,433円	57,908,598円
2.	受益権の総数	780,800,776口	794,955,583口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 平成23年11月 8日 至 平成24年 5月 7日	当中間計算期間 自 平成24年11月 7日 至 平成25年 5月 6日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

	前計算期間末 平成24年11月 6日現在	当中間計算期間末 平成25年 5月 6日現在
中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	中間貸借対照表計上額は中間計算期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(1口当たり情報)

	前計算期間末 平成24年11月 6日現在	当中間計算期間末 平成25年 5月 6日現在
1口当たり純資産額 (1 万口当たり純資産額)	1.1621円 (11,621円)	1.3101円 (13,101円)

（参考）

当ファンドは、「日本株式インデックスＴＯＰＩＸマザーファンド」「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」「日本債券インデックスマザーファンド」「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。

1. 「日本株式インデックスＴＯＰＩＸマザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

日本株式インデックスＴＯＰＩＸマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		109,117,287	240,608,405
株式		23,925,212,740	28,666,527,730
派生商品評価勘定		1,132,833	39,290,007
未収入金		48,584,905	173,186,530
未収配当金		246,081,944	266,566,913
未収利息		203	431
流動資産合計		24,330,129,912	29,386,180,016
資産合計		24,330,129,912	29,386,180,016
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		1,707,144	88,906
前受金		935,000	40,622,000
未払金		25,008	102,068,900
未払解約金		50,590,183	131,976,680
流動負債合計		53,257,335	274,756,486
負債合計		53,257,335	274,756,486
純資産の部			
元本等			
元本		40,912,921,379	31,319,412,122
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		16,636,048,802	2,207,988,592
元本等合計		24,276,872,577	29,111,423,530
純資産合計		24,276,872,577	29,111,423,530
負債純資産合計		24,330,129,912	29,386,180,016

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
1. 期首	平成23年11月 8日	平成24年11月 7日
期首元本額	43,750,772,096円	40,912,921,379円
期首からの追加設定元本額	2,717,504,083円	229,933,128円
期首からの一部解約元本額	5,555,354,800円	9,823,442,385円
元本の内訳		
D C インデックスバランス（株式20）	230,169,756円	166,256,925円
D C インデックスバランス（株式40）	816,416,494円	665,985,564円
D C インデックスバランス（株式60）	1,497,870,967円	1,265,566,682円
D C インデックスバランス（株式80）	1,632,750,011円	1,552,791,609円
インデックスファンド日本株式（D C 専用）	979,927,142円	959,021,715円
世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	15,130,521,780円	11,558,676,869円
全世界株式債券ファンド（日本・先進国・新興国）毎月分配型	17,536,711円	13,588,581円
日興ストラテジック・アロケーション・ファンド（株式資産）	122,929,147円	28,493,784円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	186,247,107円	141,120,382円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	159,004,123円	108,482,468円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	260,564,095円	177,885,710円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	328,797,306円	207,749,723円
国際分散型ファンド40（適格機関投資家向け）	14,743,790,180円	10,604,697,816円
世界アセットバランスファンド40（適格機関投資家向け）	97,317,179円	68,172,297円
世界アセットバランスファンド25（適格機関投資家向け）	119,432,906円	82,744,201円
3資産バランスファンド（適格機関投資家向け）	44,505,368円	—円
グローバルバランスファンド35（適格機関投資家向け）	76,434,642円	59,087,874円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	424,922,894円	306,386,427円

	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	1,136,153,450円	864,925,659円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	1,464,496,096円	1,225,410,078円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	1,443,134,025円	1,262,367,758円
	計	40,912,921,379円	31,319,412,122円
2.	受益権の総数	40,912,921,379口	31,319,412,122口
3.	元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	16,636,048,802円	2,207,988,592円
4.	担保資産 デリバティブ取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として担保に供している資産は次のとおりであります。 株式	220,550,000円	338,671,000円

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

(平成24年11月6日現在)

(単位：円)

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	343,630,000	—	343,160,000	470,000
合計		343,630,000	—	343,160,000	470,000

(平成25年5月6日現在)

(単位：円)

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	341,518,000	—	380,820,000	39,302,000
合計		341,518,000	—	380,820,000	39,302,000

(注)1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

平成24年11月 6日現在		平成25年 5月 6日現在	
1口当たり純資産額	0.5934円	1口当たり純資産額	0.9295円
(1万口当たり純資産額)	(5,934円)	(1万口当たり純資産額)	(9,295円)

２．「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		281,267,554	185,421,486
コール・ローン		1,343,036,572	450,532,695
株式		60,402,089,915	74,457,184,599
投資証券		1,411,650,431	1,845,643,272
派生商品評価勘定		8,520,325	19,415,640
未収入金		2,790,403	6,939,331
未収配当金		49,839,329	122,227,411
未収利息		2,505	808
差入委託証拠金		206,469,807	218,247,544
流動資産合計		63,705,666,841	77,305,612,786
資産合計		63,705,666,841	77,305,612,786
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		26,307,966	2,200,302
未払金		367,314	258,274
未払解約金		105,580,807	108,753,202
流動負債合計		132,256,087	111,211,778
負債合計		132,256,087	111,211,778
純資産の部			
元本等			
元本		66,367,767,459	59,054,165,138
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		2,794,356,705	18,140,235,870
元本等合計		63,573,410,754	77,194,401,008
純資産合計		63,573,410,754	77,194,401,008
負債純資産合計		63,705,666,841	77,305,612,786

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。 (2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
1. 期首	平成23年11月 8日	平成24年11月 7日
期首元本額	76,336,143,090円	66,367,767,459円
期首からの追加設定元本額	4,057,790,394円	1,102,894,773円
期首からの一部解約元本額	14,026,166,025円	8,416,497,094円
元本の内訳		
インデックスファンド海外株式ヘッジなし（DC専用）	14,382,859,795円	14,383,643,658円
DCインデックスバランス（株式20）	47,715,270円	39,248,760円
DCインデックスバランス（株式40）	169,279,147円	154,994,939円
DCインデックスバランス（株式60）	310,310,980円	296,779,203円
DCインデックスバランス（株式80）	337,911,175円	358,914,321円
世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	9,394,588,112円	8,042,413,878円
日興五大陸株式ファンド	17,699,222,669円	15,415,018,507円
全世界株式債券ファンド（日本・先進国・新興国）毎月分配型	73,543,353円	64,528,040円
日興ストラテジック・アロケーション・ファンド（株式資産）	99,284,577円	24,866,188円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	19,103,703円	16,722,449円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	16,463,831円	12,849,432円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	26,887,266円	20,528,926円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	34,009,527円	24,557,939円
国際分散型ファンド40（適格機関投資家向け）	15,305,278,523円	12,433,035,547円
3資産バランスファンド（適格機関投資家向け）	27,422,152円	—円

	グローバルバランスファンド35（適格機関投資家向け）	18,877,336円	16,615,914円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	43,891,787円	36,238,239円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	117,376,888円	101,018,803円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	151,352,446円	143,937,408円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	149,558,064円	149,580,018円
	年金積立 インデックスファンド海外株式（ヘッジなし）	7,942,830,858円	7,318,672,969円
	計	66,367,767,459円	59,054,165,138円
2.	受益権の総数	66,367,767,459口	59,054,165,138口
3.	元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	2,794,356,705円	—

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（株式関連）

（平成24年11月6日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	1,714,548,757	—	1,695,210,190	19,338,567
合計		1,714,548,757	—	1,695,210,190	19,338,567

（平成25年5月6日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	781,128,451	—	796,084,221	14,955,770
合計		781,128,451	—	796,084,221	14,955,770

（注）1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（通貨関連）

（平成24年11月6日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	1,254,479,464	—	1,256,030,390	1,550,926
	米ドル	816,456,354	—	823,800,410	7,344,056
	ユーロ	438,023,110	—	432,229,980	5,793,130
合計		1,254,479,464	—	1,256,030,390	1,550,926

（平成25年5月6日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等	時 価		評価損益
			うち1年超		
市場取引以 外の取引	為替予約取引				
	買建	508,058,142	—	510,303,210	2,245,068
	米ドル	395,951,810	—	399,633,450	3,681,640
	ユーロ	112,106,332	—	110,669,760	1,436,572
	売建	111,921,500	—	111,907,000	14,500
	米ドル	48,620,000	—	48,615,000	5,000
	加ドル	12,057,500	—	12,060,000	2,500
	ユーロ	51,244,000	—	51,232,000	12,000
合計		619,979,642	—	622,210,210	2,259,568

（注）1. 時価の算定方法

（1）本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

（2）本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（1口当たり情報）

平成24年11月 6日現在		平成25年 5月 6日現在	
1口当たり純資産額	0.9579円	1口当たり純資産額	1.3072円
（1万口当たり純資産額）	（9,579円）	（1万口当たり純資産額）	（13,072円）

３．「日本債券インデックスマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

日本債券インデックスマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		50,549,312	66,762,745
国債証券		24,503,490,680	27,809,779,990
地方債証券		1,997,149,000	2,205,241,000
特殊債券		2,801,754,000	2,586,284,000
社債券		2,162,558,000	2,185,248,000
未収入金		—	195,670,094
未収利息		101,814,933	100,045,095
前払費用		1,683,852	6,115,097
流動資産合計		31,618,999,777	35,155,146,021
資産合計		31,618,999,777	35,155,146,021
負債の部			
流動負債			
未払金		—	212,666,700
未払解約金		24,935,817	11,025,853
流動負債合計		24,935,817	223,692,553
負債合計		24,935,817	223,692,553
純資産の部			
元本等			
元本		25,160,170,820	27,304,872,016
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		6,433,893,140	7,626,581,452
元本等合計		31,594,063,960	34,931,453,468
純資産合計		31,594,063,960	34,931,453,468
負債純資産合計		31,618,999,777	35,155,146,021

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-----------------	---

(貸借対照表に関する注記)

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
1. 期首	平成23年11月 8日	平成24年11月 7日
期首元本額	26,055,168,581円	25,160,170,820円
期首からの追加設定元本額	1,781,986,498円	2,920,410,451円
期首からの一部解約元本額	2,676,984,259円	775,709,255円
元本の内訳		
DCインデックスバランス（株式20）	469,336,238円	529,473,698円
DCインデックスバランス（株式40）	575,452,114円	703,820,622円
DCインデックスバランス（株式60）	391,874,057円	511,056,981円
DCインデックスバランス（株式80）	64,081,958円	90,310,204円
インデックスファンド日本債券（DC専用）	1,112,147,360円	1,156,837,764円
世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	7,126,691,792円	7,814,064,837円
全世界株式債券ファンド（日本・先進国・新興国）毎月分配型	8,264,158円	9,803,145円
日興ストラテジック・アロケーション・ファンド（債券資産）	99,397,477円	65,049,426円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	7,216,652円	8,532,090円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	41,547,332円	44,094,837円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	184,615,776円	188,154,908円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	676,571,702円	659,973,717円
国際分散型ファンド40（適格機関投資家向け）	6,942,590,807円	7,664,811,356円
世界アセットバランスファンド40（適格機関投資家向け）	114,584,462円	125,503,735円
世界アセットバランスファンド25（適格機関投資家向け）	196,874,248円	213,264,944円
3資産バランスファンド（適格機関投資家向け）	21,261,988円	—円
グローバルバランスファンド35（適格機関投資家向け）	28,156,286円	33,936,125円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	878,970,026円	960,441,902円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	812,394,357円	938,271,560円

	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	386,232,513円	494,706,589円
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	56,485,704円	76,823,424円
	年金積立 インデックスファンド日本債券	4,820,491,989円	4,863,237,992円
	日本債券インデックスファンド（個人型年金向け）	144,931,824円	152,702,160円
	計	25,160,170,820円	27,304,872,016円
2.	受益権の総数	25,160,170,820口	27,304,872,016口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

平成24年11月 6日現在		平成25年 5月 6日現在	
1口当たり純資産額	1.2557円	1口当たり純資産額	1.2793円
（1万口当たり純資産額）	（12,557円）	（1万口当たり純資産額）	（12,793円）

4. 「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		860,739,435	301,622,163
コール・ローン		322,247,687	188,667,613
国債証券		221,310,863,018	247,382,218,524
派生商品評価勘定		1,793,931	967,448
未収入金		1,966,816,289	4,468,303,587
未収利息		2,881,732,327	3,209,822,238
前払費用		75,983,345	98,760,223
流動資産合計		227,420,176,032	255,650,361,796
資産合計		227,420,176,032	255,650,361,796
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		95,600	1,375,098
未払金		1,971,515,582	3,452,126,529
未払解約金		526,259,541	654,607,937
流動負債合計		2,497,870,723	4,108,109,564
負債合計		2,497,870,723	4,108,109,564
純資産の部			
元本等			
元本		148,279,610,523	131,564,867,287
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		76,642,694,786	119,977,384,945
元本等合計		224,922,305,309	251,542,252,232
純資産合計		224,922,305,309	251,542,252,232
負債純資産合計		227,420,176,032	255,650,361,796

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
1. 期首	平成23年11月 8日	平成24年11月 7日
期首元本額	323,217,716,090円	148,279,610,523円
期首からの追加設定元本額	1,567,028,133円	1,880,006,696円
期首からの一部解約元本額	176,505,133,700円	18,594,749,932円
元本の内訳		
インデックスファンド海外債券ヘッジなし（DC専用）	10,234,301,415円	10,221,232,985円
DCインデックスバランス（株式20）	60,145,982円	53,946,046円
DCインデックスバランス（株式40）	106,307,320円	104,684,578円
DCインデックスバランス（株式60）	130,268,089円	135,594,447円
DCインデックスバランス（株式80）	106,148,931円	122,382,095円
財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	40,478,376,343円	39,197,636,754円
世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	5,949,204,827円	5,485,176,440円
日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）	74,208,410,714円	60,964,038,210円
全世界株式債券ファンド（日本・先進国・新興国）毎月分配型	46,355,094円	43,815,943円
日興外国債券インデックスファンド（適格機関投資家専用）	1,357,843,576円	1,302,105,298円
財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）資産成長型	8,880,873円	14,626,038円
日興ストラテジック・アロケーション・ファンド（債券資産）	70,238,120円	34,579,872円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	5,987,878円	5,691,105円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	6,894,436円	5,851,403円
アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	17,025,128円	14,046,737円

アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	43,099,350円	33,675,770円
世界国債インデックスファンド（適格機関投資家向け）	1,091,320,470円	805,676,850円
国際分散型ファンド40（適格機関投資家向け）	1,929,505,788円	1,705,374,297円
世界アセットバランスファンド40（適格機関投資家向け）	133,108,111円	116,946,052円
世界アセットバランスファンド25（適格機関投資家向け）	186,693,392円	162,223,318円
3資産バランスファンド（適格機関投資家向け）	17,680,881円	—円
グローバルバランスファンド35（適格機関投資家向け）	53,421,274円	50,585,483円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	55,647,610円	49,009,961円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	74,372,569円	69,401,737円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	63,885,689円	65,673,191円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	47,204,663円	50,963,272円
年金積立 インデックスファンド海外債券（ヘッジなし）	11,571,522,574円	10,523,878,136円
海外債券インデックスファンド（個人型年金向け）	225,759,426円	226,051,269円
計	148,279,610,523円	131,564,867,287円
2. 受益権の総数	148,279,610,523口	131,564,867,287口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成24年11月 6日現在	平成25年 5月 6日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

(平成24年11月6日現在)

(単位：円)

区分	種 類	契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市場取引以 外の取引	為替予約取引				
	売建	728,693,721	—	726,995,390	1,698,331
	米ドル	80,189,100	—	80,210,000	20,900
	加ドル	97,445,900	—	97,485,500	39,600
	ノルウェークローネ	15,891,621	—	15,883,890	7,731
	ユーロ	535,167,100	—	533,416,000	1,751,100
合計		728,693,721	—	726,995,390	1,698,331

(平成25年5月6日現在)

(単位：円)

区分	種 類	契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市場取引以 外の取引	為替予約取引				
	買建	189,275,562	—	188,507,130	768,432
	加ドル	49,925,449	—	49,880,160	45,289
	豪ドル	68,444,558	—	67,757,410	687,148
	英ポンド	34,740,005	—	34,796,700	56,695
	シンガポールドル	13,663,159	—	13,635,860	27,299
	ノルウェークローネ	8,484,251	—	8,470,520	13,731
	南アフリカランド	14,018,140	—	13,966,480	51,660
	売建	1,003,580,232	—	1,003,219,450	360,782
	米ドル	404,926,510	—	404,476,800	449,710
	ポーランドズロチ	216,977,622	—	217,064,250	86,628
	ユーロ	381,676,100	—	381,678,400	2,300
合計		1,192,855,794	—	1,191,726,580	407,650

(注)1.時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2.換算において円未満の端数は切り捨てております。

3.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（1口当たり情報）

平成24年11月 6日現在		平成25年 5月 6日現在	
1口当たり純資産額	1.5169円	1口当たり純資産額	1.9119円
（ 1 万口当たり純資産額 ）	（ 15,169円 ）	（ 1 万口当たり純資産額 ）	（ 19,119円 ）

4【委託会社等の概況】

(1)【資本金の額】

平成25年5月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

●過去5年間ににおける主な資本金の増減

年月日	変更後（変更前）
平成20年6月23日	16,403,045,900円（16,287,728,400円）
平成21年10月1日	17,363,045,900円（16,403,045,900円）

(2)【事業の内容及び営業の状況】

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。
- ・委託会社の運用する、平成25年5月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 （単位：億円）
投資信託総合計	446	94,823
株式投資信託	383	73,469
単位型	44	957
追加型	339	72,512
公社債投資信託	63	21,353
単位型	46	509
追加型	17	20,844
投資法人合計	1	83

(3)【その他】

定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

訴訟事件その他の重要事項

委託会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される訴訟事件などは発生していません。

5【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第54期事業年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。
なお、当社の監査法人は次のとおり、交代しております。
第53期事業年度 あらた監査法人
第54期事業年度 有限責任 あずさ監査法人

（１）【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第53期 (平成24年 3 月31日)		第54期 (平成25年 3 月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金・預金	3	17,352	3	15,820
前払費用		332	3	380
未収入金		1		4
未収委託者報酬		5,872		7,472
未収収益	3	543	3	342
関係会社短期貸付金		33		606
立替金		1,094		335
繰延税金資産		1,084		869
その他	2	30	2	30
流動資産合計		26,345		25,862
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	66	1	48
器具備品	1	137	1	124
有形固定資産合計		203		172
無形固定資産				
ソフトウェア		72		70
無形固定資産合計		72		70
投資その他の資産				
投資有価証券		3,002		7,170
関係会社株式		24,320		22,935
関係会社長期貸付金		60		60
長期差入保証金		774		706
繰延税金資産		723		500
投資その他の資産合計		28,880		31,373
固定資産合計		29,156		31,616
資産合計		55,502		57,478

(単位：百万円)

	第53期 (平成24年 3 月31日)		第54期 (平成25年 3 月31日)	
負債の部				
流動負債				
預り金		194		305
未払金		3,086		3,862
未払収益分配金		7		6
未払償還金		129		115
未払手数料	3	2,486	3	3,195
その他未払金		462		545
未払費用	3	2,807	3	3,282
未払法人税等		1,295		589
未払消費税等	4	281	4	123
賞与引当金		2,039		1,770
役員賞与引当金		105		80
流動負債合計		9,809		10,012
固定負債				
退職給付引当金		907		1,001
その他		55		55
固定負債合計		963		1,057
負債合計		10,773		11,070
純資産の部				
株主資本				
資本金		17,363		17,363
資本剰余金				
資本準備金		5,220		5,220
資本剰余金合計		5,220		5,220
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金		22,172		23,530
利益剰余金合計		22,172		23,530
自己株式		68		68
株主資本合計		44,687		46,045
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		42		362
評価・換算差額等合計		42		362
純資産合計		44,729		46,408
負債純資産合計		55,502		57,478

（２）【損益計算書】

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
営業収益		
委託者報酬	56,698	52,848
その他営業収益	2,025	1,922
営業収益合計	58,724	54,771
営業費用		
支払手数料	29,251	26,955
広告宣伝費	673	649
公告費	3	7
調査費	11,397	10,797
調査費	719	691
委託調査費	10,660	10,089
図書費	18	17
委託計算費	348	406
営業雑経費	577	530
通信費	206	188
印刷費	247	214
協会費	43	46
諸会費	9	16
その他	70	64
営業費用計	42,252	39,347
一般管理費		
給料	6,991	6,759
役員報酬	237	256
役員賞与引当金繰入額	105	80
給料・手当	4,508	4,565
賞与	101	87
賞与引当金繰入額	2,039	1,770
交際費	74	100
寄付金	111	66
旅費交通費	328	313
租税公課	145	188
不動産賃借料	749	753
退職給付費用	307	312
退職金	8	83
固定資産減価償却費	143	124
諸経費	3,110	3,061
一般管理費計	11,971	11,764
営業利益	4,500	3,659

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)		第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)	
営業外収益				
受取利息		15		12
受取配当金	1	757	1	601
有価証券償還益		19		-
時効成立分配金・償還金		35		4
為替差益		-		64
その他		18		16
営業外収益合計		846		699
営業外費用				
支払利息		10		19
有価証券償還損		-		1
時効成立後支払分配金・償還金		77		15
支払源泉所得税		74		55
為替差損		35		-
弁護士報酬等		180		-
その他		4		2
営業外費用合計		381		93
経常利益		4,965		4,265
特別利益				
投資有価証券売却益		1		226
関係会社株式売却益		-		239
特別利益合計		1		465
特別損失				
投資有価証券売却損		0		84
固定資産処分損		6		3
役員退職一時金		369		75
特別損失合計		376		163
税引前当期純利益		4,590		4,568
法人税、住民税及び事業税		1,795		1,480
法人税等調整額		224		260
法人税等合計		2,020		1,740
当期純利益		2,570		2,827

（３）【株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	17,363	17,363
当期末残高	17,363	17,363
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	5,220	5,220
当期末残高	5,220	5,220
その他資本剰余金		
当期首残高	4	-
当期変動額		
自己株式の処分	4	-
当期変動額合計	4	-
当期末残高	-	-
資本剰余金合計		
当期首残高	5,225	5,220
当期変動額		
自己株式の処分	4	-
当期変動額合計	4	-
当期末残高	5,220	5,220
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	21,703	22,172
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の処分	599	-
当期変動額合計	468	1,358
当期末残高	22,172	23,530
利益剰余金合計		
当期首残高	21,703	22,172
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の処分	599	-
当期変動額合計	468	1,358
当期末残高	22,172	23,530

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
自己株式		
当期首残高	68	68
当期変動額		
自己株式の取得	8,700	-
自己株式の処分	8,700	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	68	68
株主資本合計		
当期首残高	44,224	44,687
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の取得	8,700	-
自己株式の処分	8,095	-
当期変動額合計	463	1,358
当期末残高	44,687	46,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	63	42
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	21	320
当期変動額合計	21	320
当期末残高	42	362
評価・換算差額等合計		
当期首残高	63	42
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	21	320
当期変動額合計	21	320
当期末残高	42	362
純資産合計		
当期首残高	44,287	44,729
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の取得	8,700	-
自己株式の処分	8,095	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	21	320
当期変動額合計	441	1,678
当期末残高	44,729	46,408

重要な会計方針

項目	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
1 資産の評価基準及び評価方法	(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法 其他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定) 時価のないもの 総平均法による原価法
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 4 年～ 5 年 器具備品 4 年～ 20 年 (2) 無形固定資産 定額法により償却しております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5 年)に基づく定額法によっております。
3 引当金の計上基準	(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。 (2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。 (3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。
4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。

会計方針の変更

第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 この変更による当事業年度の損益に与える影響は軽微であります。

未適用の会計基準等

- １．「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年５月17日）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年５月17日）

- （１）概要

当該会計基準等は、財務報告を改善する観点及び国際的な動向を踏まえ、主に 未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の処理方法を変更し、開示項目を拡充するほか、 退職給付債務及び勤務費用の計算方法を改正するものであります。

- （２）適用予定日

当社は については、平成25年４月１日に開始する事業年度の年度末に係る財務諸表から適用し、については、平成26年４月１日に開始する事業年度の期首から適用する予定であります。

- （３）当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による影響は、現在評価中であります。

注記事項

（貸借対照表関係）

第53期 (平成24年3月31日)	第54期 (平成25年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 1,012百万円 器具備品 590百万円 2 信託資産 その他流動資産の30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。 3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。 (流動資産) 現金・預金 5,802百万円 未収収益 217百万円 (流動負債) 未払手数料 42百万円 未払費用 259百万円 4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。 5 保証債務 当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務110百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソン タワーアソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務138百万円に対して保証を行っております。	1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 1,054百万円 器具備品 618百万円 2 信託資産 その他流動資産の30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。 3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。 (流動資産) 現金・預金 3,818百万円 前払費用 2百万円 未収収益 58百万円 (流動負債) 未払手数料 143百万円 未払費用 297百万円 4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。 5 保証債務 当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務87百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソン タワーアソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務243百万円に対して保証を行っております。

（損益計算書関係）

第53期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	第54期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 743百万円	1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 552百万円

（株主資本等変動計算書関係）

第53期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	109,600	14,283,400	14,283,400	109,600

(注) 自己株式の増加は、自己株式の取得であり、自己株式の減少は、自己株式の処分であります。

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
平成21年度 ストックオプション(1)	普通株式	19,328,100	-	112,200	19,215,900	-
平成21年度 ストックオプション(2)	普通株式	1,702,800	-	26,400	1,676,400	-
平成22年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,310,000	-	-	2,310,000	-
第1回新株予約権	普通株式	-	2,955,200	-	2,955,200	-
平成23年度 ストックオプション(1)	普通株式	-	6,101,700	9,900	6,091,800	-
合計		23,340,900	9,056,900	148,500	32,249,300	-

- (注) 1 平成21年度ストックオプション(1)及び平成21年度ストックオプション(2)の減少は、新株予約権の失効によるものであります。
- 2 第1回新株予約権の増加は、新株予約権の発行によるものであります。第1回新株予約権の新株予約権の目的となる株式の数は、新株予約権の行使に関する通知が当社に提出された日における、当社の発行済株式数×0.25%に6を乗じた数で算出され、当事業年度末の発行済株式に基づき算出しております。
- 3 平成23年度ストックオプション(1)の増加は、新株予約権の発行によるものであり、減少は新株予約権の失効によるものであります。
- 4 平成21年度ストックオプション(1)9,837,300株、平成21年度ストックオプション(2)871,200株、平成22年度ストックオプション(1)1,155,000株及び第1回新株予約権2,955,200株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、平成23年度ストックオプション(1)は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	1,502	7.63	平成23年3月31日	平成23年6月22日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,468	7.46	平成24年3月31日	平成24年6月19日

第54期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	109,600	-	-	109,600

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
平成21年度 ストックオプション（１）	普通株式	19,215,900	-	2,237,400	16,978,500	-
平成21年度 ストックオプション（２）	普通株式	1,676,400	-	49,500	1,626,900	-
平成22年度 ストックオプション（１）	普通株式	2,310,000	-	-	2,310,000	-
第１回新株予約権	普通株式	2,955,200	-	-	2,955,200	-
平成23年度 ストックオプション（１）	普通株式	6,091,800	-	161,700	5,930,100	-
合計		32,249,300	-	2,448,600	29,800,700	-

- (注) 1 平成21年度ストックオプション(1)、平成21年度ストックオプション(2)及び平成23年度ストックオプション（１）の減少は、新株予約権の失効によるものであります。
- 2 第１回新株予約権の新株予約権の目的となる株式の数は、新株予約権の行使に関する通知が当社に提出された日における、当社の発行済株式数×0.25%に6を乗じた数で算出され、当事業年度末の発行済株式に基づき算出しております。
- 3 平成21年度ストックオプション(1)13,625,700株、平成21年度ストックオプション(2)1,287,000株、平成22年度ストックオプション(1)1,732,500株及び第１回新株予約権2,955,200株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、平成23年度ストックオプション(1)は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	1,468	7.46	平成24年3月31日	平成24年6月19日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月27日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,380	7.01	平成25年3月31日	平成25年6月18日

(リース取引関係)

第53期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		第54期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料		オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	740百万円	1年内	750百万円
1年超	1,548百万円	1年超	807百万円
合計	2,288百万円	合計	1,558百万円

（金融商品関係）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬、未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻または債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金を預入れる金融機関の選定に関しては、短期間の取引が想定される金融機関の場合を除き、相手方の財政状態及び経営成績、または必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また投資有価証券に関しては、毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュー・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。これらの結果、当社の財政状態、経営成績に与える影響が著しいと判断される場合には、必要に応じて、ヘッジ取引規程に則り、それを回避する目的で、ヘッジ取引を行うことが可能であります。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額()	時価()	差額
(1) 現金及び預金	17,352	17,352	-
(2) 未収委託者報酬	5,872	5,872	-
(3) 未収収益	543	543	-
(4) 投資有価証券			
其他有価証券	2,854	2,854	-
(5) 関係会社株式			
関連会社株式	1,404	1,615	210
(6) 未払金	(3,086)	(3,086)	-
(7) 未払費用	(2,807)	(2,807)	-

() 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬並びに(3) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券及び(5) 関係会社株式

これらの時価について、株式は市場価格、投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額147百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式（貸借対照表計上額20,023百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額2,892百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5)関係会社株式」には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	17,352	-	-	-
未収委託者報酬	5,872	-	-	-
未収収益	543	-	-	-
投資有価証券				
投資信託	-	362	479	439
合計	23,768	362	479	439

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬、未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻または債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金を預入れる金融機関の選定に関しては、短期間の取引が想定される金融機関の場合を除き、相手方の財政状態及び経営成績、または必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また投資有価証券に関しては、毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュー・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。これらの結果、当社の財政状態、経営成績に与える影響が著しいと判断される場合には、必要に応じて、ヘッジ取引規程に則り、それを回避する目的で、ヘッジ取引を行うことが可能であります。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成25年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額()	時価()	差額
(1) 現金及び預金	15,820	15,820	-
(2) 未収委託者報酬	7,472	7,472	-
(3) 未収収益	342	342	-
(4) 投資有価証券			
其他有価証券	7,091	7,091	-
(5) 未払金	(3,862)	(3,862)	-
(6) 未払費用	(3,282)	(3,282)	-

()負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬並びに(3) 未収収益

これらは短期間で決済され、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(5) 未払金及び(6) 未払費用

これらは短期間で決済され、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額79百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式（貸借対照表計上額20,042百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額2,892百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	15,820	-	-	-
未収委託者報酬	7,472	-	-	-
未収収益	342	-	-	-
投資有価証券				
投資信託	-	385	1,299	920
合計	23,635	385	1,299	920

（有価証券関係）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
関連会社株式	1,404	1,615	210
合計	1,404	1,615	210

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額
子会社株式	20,023
関連会社株式	2,892

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「子会社株式及び関連会社株式」には含めておりません。

2 その他有価証券

（単位：百万円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	35	7	28
	その他	1,177	999	177
	小計	1,212	1,006	206
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	その他	1,642	1,784	141
	小計	1,642	1,784	141
合計		2,854	2,790	64

（注）1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 147百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	112	1	0
合計	112	1	0

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく時価を把握することが極めて困難と認められるため、子会社株式及び関連会社株式の時価を記載していません。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額は次のとおりです。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額
子会社株式	20,042
関連会社株式	2,892

2 その他有価証券

（単位：百万円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの	その他	6,366	5,708	658
	小計	6,366	5,708	658
貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの	その他	724	821	96
	小計	724	821	96
合計		7,091	6,529	561

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 79百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	43	35	67
投資信託	1,099	190	17
合計	1,143	226	84

（持分法損益等）

第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円) (1) 関連会社に対する投資の金額 4,407 (2) 持分法を適用した場合の投資の金額 6,834 (3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 927	関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円) (1) 関連会社に対する投資の金額 3,069 (2) 持分法を適用した場合の投資の金額 6,280 (3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 1,159

（退職給付関係）

第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
1 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュ バランスプラン型退職金制度を設けております。 2 退職給付債務に関する事項 (単位：百万円) イ 退職給付債務 985 ロ 未積立退職給付債務 985 ハ 未認識数理計算上の差異 77 ニ 退職給付引当金残高 907 3 退職給付費用に関する事項 (単位：百万円) イ 勤務費用 97 ロ 利息費用 14 ハ 数理計算上の差異の費用処理額 27 ニ 確定拠出型企業年金への掛金 168 ホ 退職給付費用合計 307 4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 イ 退職給付見込額の期間配分方法 勤続期間比例 ロ 割引率 1.4% ハ 数理計算上の差異の処理年数 10年	1 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュ バランスプラン型退職金制度を設けております。 2 退職給付債務に関する事項 (単位：百万円) イ 退職給付債務 1,101 ロ 未積立退職給付債務 1,101 ハ 未認識数理計算上の差異 99 ニ 退職給付引当金残高 1,001 3 退職給付費用に関する事項 (単位：百万円) イ 勤務費用 102 ロ 利息費用 13 ハ 数理計算上の差異の費用処理額 24 ニ 確定拠出型企業年金への掛金 171 ホ 退職給付費用合計 312 4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 イ 退職給付見込額の期間配分方法 勤続期間比例 ロ 割引率 0.9% ハ 数理計算上の差異の処理年数 10年

（ストックオプション等関係）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社の従業員 1名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 2,310,000株	普通株式 6,101,700株
付与日	平成22年8月20日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成25年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで

（注） 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利確定前(株)		
期首	19,328,100	1,702,800
付与	0	0
失効	112,200	26,400
権利確定	0	0
権利未確定残	19,215,900	1,676,400
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月 7 日
権利確定前(株)		
期首	2,310,000	-
付与	0	6,101,700
失効	0	9,900
権利確定	0	0
権利未確定残	2,310,000	6,091,800
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月7日
権利行使価格(円)	625	737 (注) 3
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

(注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。

2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円

3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 ストックオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) ストックオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数(注)	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社の従業員 1名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名
株式の種類別のストックオプションの付与数(注)	普通株式 2,310,000株	普通株式 6,101,700株
付与日	平成22年8月20日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成24年1月22日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成25年10月7日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで

(注) 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利確定前(株)		
期首	19,215,900	1,676,400
付与	0	0
失効	2,237,400	49,500
権利確定	0	0
権利未確定残	16,978,500	1,626,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月 7 日
権利確定前(株)		
期首	2,310,000	6,091,800
付与	0	0
失効	0	161,700
権利確定	0	0
権利未確定残	2,310,000	5,930,100
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月7日
権利行使価格(円)	625	737 (注) 3
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

(注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。

2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円

3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

(税効果会計関係)

第53期 (平成24年 3 月31日)	第54期 (平成25年 3 月31日)																																						
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円) 繰延税金資産(流動) <table> <tr> <td>賞与引当金繰入超過額</td><td>775</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>309</td></tr> <tr> <td>小計</td><td>1,084</td></tr> </table> 繰延税金資産(固定) <table> <tr> <td>投資有価証券評価損</td><td>52</td></tr> <tr> <td>関係会社株式評価損</td><td>205</td></tr> <tr> <td>退職給付引当金超過額</td><td>329</td></tr> <tr> <td>固定資産減価償却超過額</td><td>190</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>28</td></tr> <tr> <td>小計</td><td>806</td></tr> </table> 繰延税金資産小計 1,890 評価性引当金 61 繰延税金資産合計 1,829 繰延税金負債(固定) <table> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td><td>22</td></tr> </table> 繰延税金負債合計 22 繰延税金資産の純額 1,807	賞与引当金繰入超過額	775	その他	309	小計	1,084	投資有価証券評価損	52	関係会社株式評価損	205	退職給付引当金超過額	329	固定資産減価償却超過額	190	その他	28	小計	806	その他有価証券評価差額金	22	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円) 繰延税金資産(流動) <table> <tr> <td>賞与引当金繰入超過額</td><td>672</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>196</td></tr> <tr> <td>小計</td><td>869</td></tr> </table> 繰延税金資産(固定) <table> <tr> <td>投資有価証券評価損</td><td>149</td></tr> <tr> <td>退職給付引当金超過額</td><td>361</td></tr> <tr> <td>固定資産減価償却超過額</td><td>174</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>75</td></tr> <tr> <td>小計</td><td>760</td></tr> </table> 繰延税金資産小計 1,630 評価性引当金 61 繰延税金資産合計 1,568 繰延税金負債(固定) <table> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td><td>199</td></tr> </table> 繰延税金負債合計 199 繰延税金資産の純額 1,369	賞与引当金繰入超過額	672	その他	196	小計	869	投資有価証券評価損	149	退職給付引当金超過額	361	固定資産減価償却超過額	174	その他	75	小計	760	その他有価証券評価差額金	199
賞与引当金繰入超過額	775																																						
その他	309																																						
小計	1,084																																						
投資有価証券評価損	52																																						
関係会社株式評価損	205																																						
退職給付引当金超過額	329																																						
固定資産減価償却超過額	190																																						
その他	28																																						
小計	806																																						
その他有価証券評価差額金	22																																						
賞与引当金繰入超過額	672																																						
その他	196																																						
小計	869																																						
投資有価証券評価損	149																																						
退職給付引当金超過額	361																																						
固定資産減価償却超過額	174																																						
その他	75																																						
小計	760																																						
その他有価証券評価差額金	199																																						
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 <table> <tr> <td>法定実効税率 (調整)</td><td>40.6%</td></tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td><td>2.5%</td></tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td><td>5.6%</td></tr> <tr> <td>税率変更による期末繰延税金資産の減額修正</td><td>3.8%</td></tr> <tr> <td>海外子会社の留保利益の影響額等</td><td>2.7%</td></tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td>44.0%</td></tr> </table>	法定実効税率 (調整)	40.6%	交際費等永久に損金に算入されない項目	2.5%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.6%	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	3.8%	海外子会社の留保利益の影響額等	2.7%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	44.0%	2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。																										
法定実効税率 (調整)	40.6%																																						
交際費等永久に損金に算入されない項目	2.5%																																						
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.6%																																						
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	3.8%																																						
海外子会社の留保利益の影響額等	2.7%																																						
税効果会計適用後の法人税等の負担率	44.0%																																						

第53期 (平成24年3月31日)	第54期 (平成25年3月31日)
3 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正 経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律及び東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法が平成23年12月2日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成24年4月1日以降解消されるものに限る）に使用した法定実効税率は、前事業年度の40.6%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成24年4月1日から平成27年3月31日までのものは38.0%、平成27年4月1日以降のものについては35.6%にそれぞれ変更されております。 その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債を控除した金額）が170百万円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が174百万円、その他有価証券評価差額金額が4百万円、それぞれ増加しております。	-

（関連当事者情報）

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金又は 出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等の 所有(被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	住友信託銀行株式会社 (注)3	大阪市 中央区	342,037	信託 銀行業	(被所有) 直接 91.34 (注)2	投資信託 受益証券の 募集販売	自己株式の 取得(注)1	8,700	-	-

上記の金額のうち、取引金額には消費税が含まれておりません。

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 当社株式14,283,400株を 1 株につき609.10円で取得したものであります。
- 2 議決権等の被所有割合は、自己株式（109,600 株）を控除して計算しております。
- 3 住友信託銀行株式会社は、平成24年 4 月 1 日付で中央三井信託銀行株式会社及び中央三井アセット信託銀行株式会社を吸収合併し、三井住友信託銀行株式会社に社名を変更しております。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の 名称又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千SGD)	事業 の 内容	議決権等の 所有(被所有) 割合(%)	関連当 事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万 円)	科目	期末残 高(百万 円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガ ポール 国	252,000	アセッ トマネ ジメン ト業	直接 100.00	-	増資の引 受 (注1)	8,095	-	-
							株式売買 代金相当 額の引受 (注2)	8,095	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- Nikko Asset Management Singapore Limitedの行った137,000,000株の新株発行増資を、1株につき1シンガポールドルで当社が引受けたものであります。なお、Nikko Asset Management Singapore Limitedは、当事業年度中にNikko Asset Management International Limited に社名を変更しております。
- DBS Asset Management Ltd（現社名Nikko Asset Management Asia Limited）株式の売買代金相当額をNikko Asset Management Singapore Limited（現社名Nikko Asset Management International Limited）から当社が受領したものであります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所等に上場）

住友信託銀行株式会社（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成23年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	9,309百万円
負債合計	1,103百万円
純資産合計	8,206百万円

営業収益	7,961百万円
税引前当期純利益	2,868百万円
当期純利益	2,181百万円

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金 は 出資金 (千SGD)	事業 の 内容	議決権 等の 所有 (被所有) 割合 (%)	関連 当事 者 との 関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガ ポール 国	252,000	アセッ ト マネジ メント 業	直接 100.00	資金の 貸付	資金の貸付 (シンガポー ルドル貨建) (注1)	525 (千 SGD8,000)	関係 会社 短期 貸付 金	606 (千 SGD8,000)
							貸付金利息 (シンガポー ルドル貨建) (注1)	5 (千SGD76)	未収 収益	5 (千SGD76)

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠SGD11百万、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所等に上場）

三井住友信託銀行株式会社（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成24年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	10,930百万円
負債合計	1,103百万円
純資産合計	9,826百万円

営業収益	7,917百万円
税引前当期純利益	2,801百万円
当期純利益	2,091百万円

（セグメント情報等）

セグメント情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

関連情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

（１）営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

（２）有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

（１）営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

（２）有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

該当事項はありません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

該当事項はありません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

該当事項はありません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

項目	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
1株当たり純資産額	227円16銭	235円69銭
1株当たり当期純利益金額	13円09銭	14円35銭

(注) 1 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益（百万円）	2,570	2,827
普通株主に帰属しない金額（百万円）	-	-
普通株式に係る当期純利益（百万円）	2,570	2,827
普通株式の期中平均株式数（千株）	196,278	196,903
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まなかった潜在株式の概要	平成21年度ストックオプション(1) 19,215,900株、平成21年度ストックオプション(2) 1,676,400株、平成22年度ストックオプション(1)2,310,000株、第1回新株予約権2,955,200株、平成23年度ストックオプション(1)6,091,800株	平成21年度ストックオプション(1) 16,978,500株、平成21年度ストックオプション(2) 1,626,900株、平成22年度ストックオプション(1)2,310,000株、第1回新株予約権2,955,200株、平成23年度ストックオプション(1)5,930,100株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第53期 (平成24年 3 月31日)	第54期 (平成25年 3 月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	44,729	46,408
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	-	-
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	44,729	46,408
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	196,903	196,903

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

独立監査人の中間監査報告書

平成25年6月18日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 佐々木 貴 司
業務執行社員

指定社員 公認会計士 和 田 渉
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDCインデックスバランス（株式20）の平成24年11月7日から平成25年5月6日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、DCインデックスバランス（株式20）の平成25年5月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成24年11月7日から平成25年5月6日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

日興アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2．中間財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年 6 月14日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任 あ ず さ 監 査 法 人

指定有限責任社員 公認会計士 羽 太 典 明
業 務 執 行 社 員

指定有限責任社員 公認会計士 秋 宗 勝 彦
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第54期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

その他の事項

会社の平成24年3月31日をもって終了した前事業年度の財務諸表は、前任監査人によって監査されている。前任監査人は、当該財務諸表に対して平成24年6月15日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。